

事故を防ぎ、製品を長期間安全に使用するため、 長期使用製品安全点検・表示制度が平成21年4月から始まります！

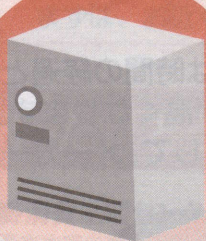
製品は、年月の経過とともに、部品等が劣化し、火災や死亡事故を起こすおそれが高くなります。

そこで、国は、「長期使用製品安全点検・表示制度」*を創設し、石油ふろがまや石油給湯機など、特に重大事故が発生するおそれが多い製品(特定保守製品)については、メーカーに所有者登録することで、点検時期にお知らせが届くようになります。

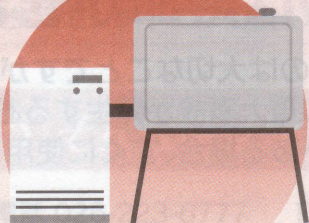
(※平成21年4月1日以降に製造・輸入された製品が対象)

対象製品は？

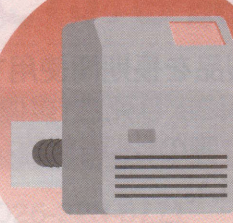
経年劣化による死亡等の重大事故の発生率が高い、
9つの製品です(特定保守製品)。



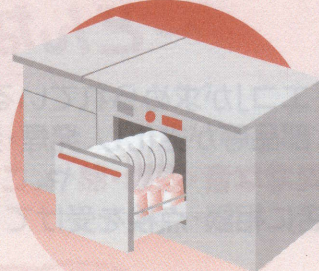
石油給湯機



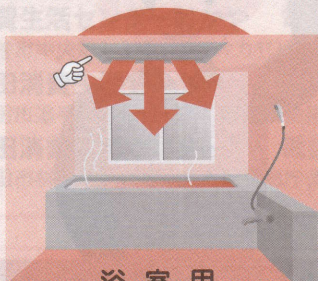
石油ふろがま



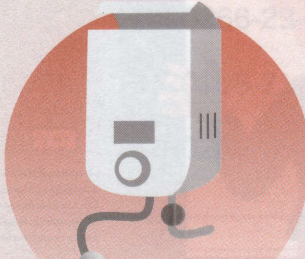
FF式石油温風暖房機



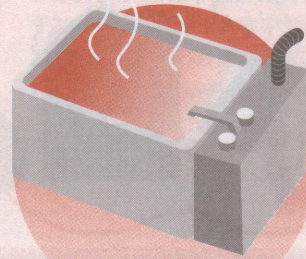
ビルトイン式電気食器洗機



浴室用
電気乾燥機



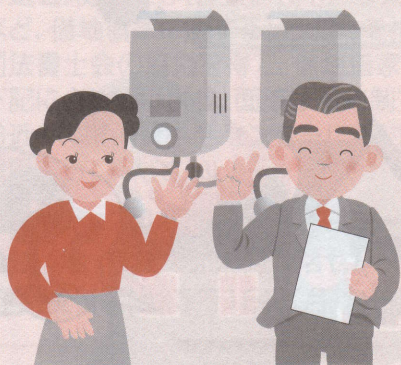
屋内式ガス瞬間湯沸器
(都市ガス用、LPガス用)



屋内式ガスふろがま
(都市ガス用、LPガス用)

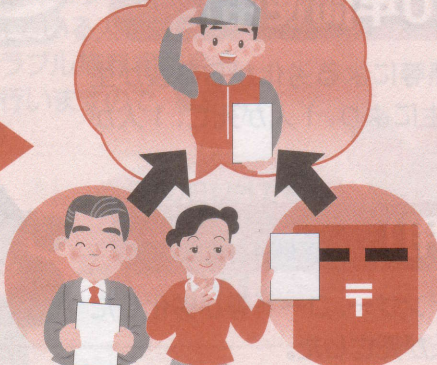
どんな手続きをするの？

制度の説明を聞く



対象製品の購入時に、販売店等から、点検制度の説明を受けます。

所有者登録をする



所有者情報を登録するため、所有者票を返送します。

点検を受ける



点検時期に、お知らせが来ますので、点検の依頼をし、点検を受けます。*

(※)点検を受けるには、料金がかかります。

製品に、製造年や設計標準使用期間が表示されます

特定保守製品(9品目)は、製造年月や設計標準使用期間等が、製品の見やすい場所に表示されます。

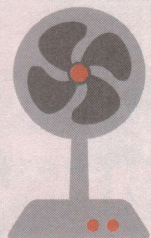
< 表示のイメージ >



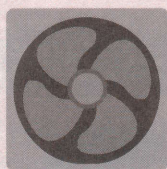
特定保守製品

1. 特定製造事業者等名
株式会社〇〇〇〇
〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番地
2. 製造年月 20**年**月
3. 製造番号 XXX-XXXXXX
4. 設計標準使用期間 〇〇年
5. 点検期間 20**年**月～20**年**月
6. 問合せ先
株式会社〇〇〇〇 お客様相談センター
電話：0120-〇〇-〇〇〇〇

重大事故の発生件数の多い製品(5品目)は、製造年や設計上の標準使用期間が表示されます。



扇風機



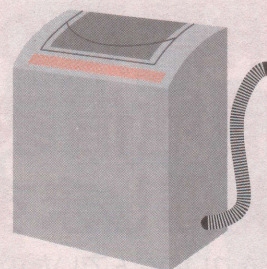
換気扇



エアコン



ブラウン管
テレビ



洗濯機
(洗濯乾燥機を除く)

< 表示のイメージ >



特定保守製品ほど重大事故発生率は高くないですが、事故件数が多い製品ですので、標準使用期間を参考に、必要に応じて点検等を行ってください。



【製造年】 20**年
【設計上の標準使用期間】 〇〇年

設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。